

市立ひらかた病院 経営強化プラン素案 アンケート集計

質問 1. アンケートに記入・回答した医療機関

	診療所・クリニック	急性期病院	回復期病院	慢性期病院	合計
回答件数	194件(※)	4件	4件	6件	208件
送付件数	576件	9件	4件	10件	599件
各回答割合	33.7%	44.4%	100%	60.0%	34.7%

(※) 特養内診療所(1件)・助産院(1件)を含む。

質問 2. 医療機関の所在地

	枚方市	寝屋川市	交野市	合計
件数	168件	13件	27件	208件
割合	80.8%	6.2%	13.0%	100%

質問 3. 市立ひらかた病院が、今後も政策医療を提供していくため、「急性期病院」としての機能を維持していくことについて

	問題はない	問題がある	わからない(※)	合計
件数	181件	3件	22件	206件
割合	87.9%	1.4%	10.7%	100%

(※) 問題があるわけではないですが、救急に力を入れるならば、診療所・クリニックからのホットラインを設置してほしいです(1件)

■「問題がある」と答えた方へ。具体的なご意見を教えてください。

- ・周産期医療が急性期病院として機能していない！(1件)
- ・夜間の救急の受け入れが、当直医によって差がある(1件)
- ・困難な治療は対応してほしい(1件)

質問 4. 市立ひらかた病院で特に期待している「政策医療」について(複数回答有)

	救急医療(※1)	小児医療	新興感染症対策医療	周産期医療	災害医療	合計(※2)
件数	177件	87件	102件	57件	90件	513件
割合	34.5%	17.0%	19.9%	11.1%	17.5%	100%

(※1) 三次救急ではありません。当日のとびこみ受診ということです(1件)

(※1) 口腔外科(1件)

(※2) 順位→1 新興感染症対策医療、2 小児医療、3 周産期医療、4 救急医療(1件)

(※2) 複数回答可とされると、どれも重要だと思ってしまう(1件)

質問5. 地域の医療機関と市立ひらかた病院（地域医療支援病院）が連携を深めていくための効果的な取組み（複数回答有）

	件数	割合
病院職員（医師等）が地域医療機関へ出向いて情報交換の機会をもつ（※1）	60件	26.9%
市立ひらかた病院で地域の医療機関が一堂に会する機会をもつ（※2）	103件	46.2%
情報誌「かわせみ」等の発行回数を増やす	31件	13.9%
その他（※3）	29件	13.0%
合計	223件	100%

- （※1） zoom でいいのでは、と個人的に思います（1件）
- （※1） 出向いていただかなくてもオンラインで構わないと思います（1件）
- （※2） 各科ごとに連携を深める（2件）
- （※2） 各科でよいと思います（1件）
- （※2） 分野別の懇親会が良いのでは（1件）
- （※2） 市立ひらかた病院で地域の医療機関が一堂に会する機会をもつのが良いが、コロナ禍ではwebによる発信が良い（1件）
- （※3） 今のままでよい（3件）
- （※3） オンラインで半年に1回でも情報交換の場を持つ（1件）
- （※3） HPなどで情報UPなどあれば助かります（1件）
- （※3） 医療関係者用HP（web）とメール（1件）
- （※3） EメールまたはLINEで情報交流や、やりとりができれば有難い（1件）
- （※3） web上で情報提供して下さい。出向く時間がない（1件）
- （※3） ネットでグループを作り、情報発信や相談（1件）
- （※3） コロナ後に医師会やメーカー主催の講演会等を実施（1件）
- （※3） web勉強会アーカイブをしていただいたら幸いです（1件）
- （※3） 結局はDr同士のつながり（知り合いかどうか？）になりそうですが…（1件）
- （※3） 市立ひらかた病院の休日診療に地域の医師が参加する（頻度は月に1日くらいで）（1件）
- （※3） 医師各々の専門性を開業医に知ってもらおう（1件）
- （※3） 各科が何が得意か、各科の状況を医師会によく知ってもらおうことが大切（1件）
- （※3） まず中核病院（枚方公済病院、星ヶ丘医療センター、天の川病院、佐藤病院、関西医大病院等）との住み分けを各々の病院で認識・確立する。その上で、病院の特色を地域の医療機関へ知らせる（1件）
- （※3） 連携室同士での交流（慢性期病院1件）
- （※3） 1～2年程度で異動するようでは、地域と連携は取りづらいのでは？（1件）
- （※3） 急性期の患者を紹介したとき、断らないようにしてもらえれば良い（1件）
- （※3） 救急患者の受入れ（1件）
- （※3） 紹介した患者を必ず返す・逆紹介するなど（1件）
- （※3） 紹介患者の御返事・経過御報告が、よりスムーズであれば有難いです（1件）
- （※3） 普段のやり取りがスムーズであること（電話・その他）スムーズだと感じています（1件）
- （※3） 地理的に当院とは距離があるせいか、病診連携がうまく働いていない（1件）
- （※3） 別紙記入（1件）＝P10参照

質問6. 消化器センターと下肢機能再建センターについて

	よく知っている	知っている（※）	知らない	合計
件数	10件	78件	118件	205件
割合	4.8%	37.9%	57.3%	100%

（※）消化器センターのみ（2件）

■「知らない」と答えた方へ。（○印は複数可）。

	件数	割合
パンフレットや資料があれば送ってほしい	65件	73.0%
機会があれば担当医の話を聞きたい	8件	9.0%
その他（※）	16件	18.0%
合計	89件	100%

（※）医療関係者用 HP（web）（1件）

（※）HP に詳しく掲載・紹介してほしい（2件）

（※）「かわせみ」等で何度も告知してください（1件）

（※）「かわせみ」で充分（1件）

（※）広報ひらかた等で知らせてほしい（1件）

（※）今後、送っていただいたパンフレットを、よく見るようにします（1件）

（※）確認します（1件）

（※）あまり関心がない（1件）

（※）現在は忙しくて資料も満足に目を通せない（1件）

（※）公立病院は専門性をもつ必要はない。大学病院へ移送すること、地域の基礎医療のベースを使ってほしい。開業医として患者さんと安心に連携できる！（1件）

質問7. 市立ひらかた病院で実施している市民公開講座・オープンセミナー・くらわんかフォーラムについて

	知っている	知らないものがある	合計
件数	159件	41件	200件
割合	79.5%	20.5%	100%

■「知らないものがある」と答えた方へ。知らないものについて（複数回答有）

	市民公開講座	オープンセミナー	くらわんかフォーラム	合計
件数	12件	22件	28件	62件
割合	20.0%	35.0%	45.0%	100%

質問 8. 市立ひらかた病院に患者を紹介していただいたこと

	ある	ない	合計
件数	199 件	2 件	201 件
割合	99.0%	1.0%	100%

■ 「ある」と答えた方へ。紹介する理由について（複数回答有）

	件数	割合
専門医がいる	150 件	25.8%
施設や設備が充実している	86 件	14.8%
患者や家族が希望する	96 件	16.6%
患者宅からの距離が近い	70 件	12.1%
紹介患者の経過報告をきちんとしてくれる	85 件	14.7%
逆紹介してくれる	29 件	5.0%
入院受入の対応がスムーズ（早い）	49 件	8.4%
他に受入医療機関がない	7 件	1.2%
その他（※）	8 件	1.4%
合計	580 件	100%

（※）担当者の対応が丁寧（1 件）

（※）消化器センターの設置後、特に消化器系の対応が早くなった（1 件）

（※）すばやく受け入れてくれるため（1 件）

（※）Dr を知っているから（1 件）

（※）以前に入院治療を受けたことがある（1 件）

（※）回復期リハビリ後の再診（1 件）

（※）感染症指定病院のため（1 件）

（※）嘱託医として健診をお願いしているから（1 件）

（※）紹介状を持たずに患者さんが勝手に行ってしまいます。

そのような場合でも、地域連携を介して情報が欲しい。紹介状がないからと省略されてしまうのは、機能的ではありません。お薬手帳を見たら、どこに通院してるか判るでしょうか？（1 件）

■ 「ない」と答えた方へ。紹介しない（しなかった）理由。

・路線がちがう（1 件）

・枚方では関西医大付属病院への紹介が多い。寝屋川市民であると、アクセス・駅から近いため（1 件）

質問9. 市立ひらかた病院に紹介していただいた患者を、その後、市立ひらかた病院から引き受けていただいたこと（逆紹介）について

	ある	ない	合計
件数	180件	21件	201件
割合	89.6%	10.4%	100%

■「ある」と答えた方へ。過去に逆紹介した際に問題があった点について（複数回答有）

	件数	割合
情報が不十分である（必要な情報が記載されていない）（※1）	13件	14.9%
情報が不正確である（間違いが多い）	2件	2.3%
その他（※2）	72件	82.8%
合計	87件	100%

- （※1）Dr によるが（1件）
- （※2）特に問題はない（45件）
- （※2）とても丁寧に対応していただきました（2件）
- （※2）詳細な診療情報を賜りました（1件）
- （※2）逆紹介不要の紹介例なのに帰ってくる（1件）
- （※2）逆紹介されても困るケースもある（1件）
- （※2）FAXでの返事だけでなく、郵送してほしい（1件）
- （※2）前もって患者さん本人より前に紹介状を送ってほしい←以前は当日患者さんが持参されることがありましたが、最近はどうもありません（1件）
- （※2）患者への説明が不十分（1件）
- （※2）たまに返書がない時がある（1件）
- （※2）転科された為か、最終お返事がまだの方がおられます（1件）
- （※2）亡くなった旨の報告がなかった（1件）
- （※2）こちらからの紹介患者が、こちらへの説明なしに他医へ紹介されていた（1件）
- （※2）看護サマリーの内容が、古いことが多い（1件）
- （※2）消化器科、胃カメラとか大腸カメラの所見用紙が大きくてカルテに貼りにくい（1件）
- （※2）患者に精神的な問題があった（1件）

■「ない」と答えた方へ。逆紹介を引き受けなかった理由（○印は複数可）。

	件数	割合
十分な説明がないまま医療依存度の高い患者を紹介されたことがある	2件	18.2%
その他（※）	9件	81.8%
合計	11件	100%

- （※）逆紹介はなかった（4件）
- （※）そもそも引き受けまでの依頼がございません。何かお役に立てるのでありましたら、よろしく申し上げます（1件）
- （※）今まで、そのタイミングがありませんでした（1件） 機会がない（1件）
- （※）貴院で治療終了したため（1件）

質問 10. 回復期病院・慢性期病院の方へ。

市立ひらかた病院に紹介していただいた患者でない方を、新規患者として市立ひらかた病院から引き受けていただいたこと（逆紹介＝転院受入）について

	ある	ない	合計
件数	8件	1件	9件
割合	87.5%	12.5%	100%

■ 「ある」と答えた方へ。過去に問題があった点について（複数回答有）

	件数	割合
十分な説明がないまま医療依存度の高い患者を紹介されたことがある	0件	—
患者宅からの距離が遠い	1件	33.3%
その他（※）	3件	66.7%
合計	4件	100%

（※）特に問題はない（2件）

（※）空床の事を中心に打診されるため、本来の ACP 等達成に向け協力がしにくかったり、部屋の準備をしてる最中で「他へ決まりキャンセル」と報告があったり、連携がとりにくい印象（1件）

■ 「ない」と答えた方へ。転院受入しない（しなかった）理由について（複数回答有）

	件数	割合
逆紹介のシステムが不十分である	0件	—
十分な説明がないまま医療依存度の高い患者を紹介されたことがある	0件	—
患者や家族が希望しない	0件	—
患者宅からの距離が遠い	0件	—
その他（※）	1件	100%
合計	1件	100%

（※）特養内診療所で、直近で貴院より入所紹介はないため（1件）

質問 11. その他、市立ひらかた病院経営強化プラン「素案」に対する自由意見等

市立ひらかた病院より地域医療機関の皆様へ

- 「プラン素案に対する自由意見等」では、本当に多くのご意見をいただきました。心より感謝を申し上げます。今回は、記述していただいたご意見の全てを記載させていただき、ご意見の内容・傾向ごとに分けていますので、ご一読いただければ幸いです。
- 当院といたしましては、アンケートの回答結果、また自由意見等で記述いただいたご意見も参考に、今後、病院の経営強化を図ってまいります。
- 政策医療を担う急性期病院としての機能を維持し、地域の中核病院として質の高い安全な医療を提供するため、地域の医療機関の皆様との連携を強化させていただいて、医療圏及び枚方市全域での連携体制による医療完結を目指してまいりますので、ご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

<政策医療・全般>

- 今後も政策医療を提供していくことは、非常に重要なことなので、採算性にとらわれず充実させてください。
- コロナや急性期の救急・入院など大変ありがたく存じます。今後ともよろしく願い申し上げます。
- 市立ひらかた病院の位置づけとしては、「急性期病院」であることは誰もが認めることだと思います。「脳血管障害」「心血管イベント」に対する救急対応に加え、「小児救急」「産科救急」に対する救急対応の充実も期待しています（私自身、枚方市民病院において帝王切開で産まれましたので）。
現在、市立ひらかた病院で、多数知り合いの Dr（大学時代の部活の先輩、同級生、後輩、友達のお姉さん、以前の勤務先で同僚だったなど）が勤務されています。ぜひ皆で市立ひらかた病院を盛り上げていきたいと思えます。
- 政策医療等を行う急性期病院という位置づけを、はっきりアピールして、市民をはじめ色んな方に理解してもらおう。
- 赤字が出る事はけしからんとする市民や議員がいるが、病院の性質上、ある程度は仕方ないと思う。どの程度なら OK なのか、行政と相談の上、公表及び市民へ理解をしてもらう活動をすべき。産科、小児科、感染症等やりながら黒字は難しいと思えます。
- いつも快い対応で感謝しております。必ず南海トラフが来ますので、その時、貴院が key hospital になると考えております。頼りにしております。
- 市立ひらかた病院の政策医療は、五医療すべて必要。但し、大学病院等特定機能病院と、どのように役割分担するか。
- 地域の中核病院として、やはり公立病院であるということは、患者様の信頼度は高いと思えます。
- 今後とも、公立病院としての役割を、しっかり頑張ってください。
- 開業医にとって、診療時間中、特に夜診時間中で急患が来院された場合、救急対応してもらえる病院探しに、各病院に電話してお願いしているのが現状です。拒否される場合も多く、困っています。
貴院に総合診療科等があり、内科系の疾患については全て対応していただく体制になれば、開業医にとって心強い頼りになる病院となるでしょう。開業医専用のホットライン用の電話で、急患の状態の話し合いが可能であれば、お互いに急患への理解ができて、対応が円滑に進むと考えます。
- いつもお世話になっております。北河内医療圏唯一の公立病院、地域の中核病院が近くにあり、心強く思っております。
専門性の高い先生がおられ、紹介させていただく機会があるのですが、患者様の状態から早期の受信が望ましい時に、1 カ月程先まで予約の空きがないという場面がよくあります。その場合、他院も検討するということとなりますので、早く受入れていただけるようなシステムがあれば、とても助かります。

<産婦人科・小児科>

- 当院の婦人科で急患紹介が出来ず、高槻まで紹介する場合がありますので、産婦人科体制をぜひ強化してほしいです。いつも有難うございます。
- 産婦人科の一次救急、二次救急を積極的に受入れてほしい。また、精神疾患合併妊娠の方を大阪精神医療センターと連携するなどして、受入れてほしい。関西医大枚方病院が受入れてくれないので、現状では精神疾患合併妊婦の方は高槻（大阪医大）か、関西医大滝井に行くしかなく、大変不便となっています。
- 妊婦、急変等の受け入れをスムーズにしてほしい！
- 公的二次医療機関としての役割がコロナ禍でクルーズアップされる中、多くの制限・制約がある中で、この間本当にご苦労様です。当初、コロナ（+）の妊婦や産婦は、嘱託医療機関である貴院でも他の三次機関へ搬送になると伺っていましたが、本日、当院分娩希望の妊婦の同伴で健診に寄せてもらった折、貴院でもコロナ（+）産婦の経陰分娩を扱うこととなったとお聞きました。先生方をはじめ、スタッフの皆様のご尽力に感謝しております。公的機関として不採算な政策医療を担うのは大変で、そこに経営改善も折り込むこと、難しいとは思いますが、公立であるからこそ、周産期も当院のような助産院と連携して、切れ目ない支援を実現して分娩数を確保する方向を一緒に目指せたらと思います。
この間、特に当院分娩希望者と産前・産後の連携が役立ったのは、メンタルヘルスの問題を抱えたケースでした。当院で産んでも貴院で産んでも、結局、保健センターと貴院と当院で、切れ目なく支援することとなっています。なので、こういったケースで当院フォロー妊産婦の場合は、その後、貴院での分娩となる場合

も、妊娠中に共同のカンファレンスを持てればと思っています。また、その節はよろしく願いいたします。また、当院は整体を活用して妊娠中から骨盤の診断をして、自分でマイナートラブルを軽減できる方法を指導しています。骨盤の歪みをとると妊娠中の異常の予防、安産、産後のマイナートラブル予防と、うつ予防など効果が大きく、何より産後の育児期や身体の不安を相談できる場所があることを、妊婦が産前に知るチャンスとなります。他の妊婦との交流の場にもつなげることができて、そういった安心感や話を聞いてもらえる場所やマイナートラブルの指導を受けられる場所として、助産院との連携が実現すれば、市立ひらかた病院の地域との連携の中で、顔の見える医療体制の構築になるのではないかと考えます。

- 市立ひらかた病院に期待することは、少なくとも枚方市民に対して、小児、妊産婦事例の全受入れです。受入れ要請から受入れまでの時間が長く（2時間など）、クリニック内でトラブルになるケースがあります。
- いつも大変お世話になっております。大変頼りにしております。特に小児科様には迅速・丁寧に対応していただいております。今後ともよろしくお願いいたします。
- 小児整形で市内に紹介できる医療機関がないので、困っています。

<逆紹介・紹介>

- 急性期病院としての役割を果たすために、慢性期患者をクリニックへ逆紹介し、急性期患者、感染症を受入れ可能な体制をつくってほしい。
- 逆紹介を増やし、市立ひらかた病院でしか診れない患者を、いつでも迅速に受け入れる体制を作ってほしい。
- 地域医療の循環のためにも、もっと積極的に逆紹介をしていただきたく思います。よろしくお願いいたします。
- 出来れば、DM（糖尿病）、高血圧、心筋梗塞後・脳梗塞後で安定している患者様、甲状腺疾患などを逆紹介していただければ幸いです。
- とても詳細を公開されていることに、とても感銘を受けました。今後も、医科・歯科の連携強化の意味合いでも、可能な方の受け入れは行いたいです。よろしくお願いいたします。
- 十分な説明後に逆紹介を希望。
- 当院の職員が貴院で健診（胃カメラ）を受けた後、精査で担当医が大阪医大の関連の医師（診療所）に無理に紹介された。その診療所にて検査を受けたが、印象が悪く、相談を受けた。基本的に受診患者様の希望される診療所・クリニックに紹介をお願いしたい。無理な誘導は避けていただきたい。
- 紹介患者の受入れはスムーズにお願いしたい。病名や病状で断るのではなく、新たな転送先まで紹介してもらえれば有難い。いずれにしても、患者さんが一番納得できるようにしてほしい。

<医師・職員>

- 医師やスタッフが burned out（燃え尽きる）しないようにしてほしい。
- 病院の考えが、医者の方まで届いてないのではないか。
- 概ね異存はない。以前、SARS が懸念された時期に発熱患者を紹介したことがあるが、病院機能として準備が遅れていたせいか、一般患者と混ざってしまったことがあった。外来担当医から電話で厳しく叱責され、大変困惑したことがトラウマになってる。怖い先生もいるものだと。医師教育も重要ではないか。少なくとも一般開業医は、色んな経験をした先輩医が多い筈だから言葉使いや礼節は学ぶべきだろう。電話交換手や受付係以上に、若手医師等に対する教育こそ必要だろう。

<地域医療機関と市立ひらかた病院の関係性>

- なかなか時間外に（救急等で）紹介することはハードルが高いので、もっと我々開業医と近い関係であってほしいです。今後とも、よろしくお願いいたします。
- 今後も協力体制の継続。
- いつも丁寧に治療していただき、術後報告もいただき、患者とのトラブルもなく、感謝しております。
- MRI の依頼を快く受けていただき感謝しています。
- いつもありがとうございます。特に意見はございません。一番、信頼のおける病院です。これからもよろしくお願いいたします。
- 特にありません。いつも助かっています。
- 平素より大変お世話になり、深謝申し上げます。今後とも宜しく願い申し上げます（2件）。

- 当院は市立ひらかた病院の近隣ではありませんが、徒歩圏内に大病院があります。そのような病院が積極的に外来患者を集めますので、何もとりえのないコンビニ内科診療所は非常に苦しい。高齢者が皆そっちへ行ってしまいます。当たり前というものです。大きくて広い所で多くの人が働いて、夜通し電気がついている。内科も整形も眼科も泌尿器も診てもらえる。糖尿病は栄養士さんがきちんと指導してくれて、リハビリも充実している。特に当初、コロナワクチンが不足がちで「かかりつけ優先」で対応した医療機関が多かった。じゃあ大きな病院をかかりつけ医にしとかんと心配という意識になる。死ぬほど待たされたって、年に4回だけ我慢したら、90日分の薬をくれる。外来患者が多くて困るというのは、自業自得というか、高齢者の意識、受療行動を軽視した施策が、高齢者を大病院へ、大病院へと引き寄せるようにできている。皮肉なことに。いっそ、大病院に歩いて来れる患者さんは受け付けません、地域の診療所からの紹介状が要ります、くらしいの徹底した連携を図ってもらいたいものです。

<提案>

- 患者も高齢化が進み、関西医大病院のように駅から病院までのバス（定期便）の運行をお願いしたい。交通の便が悪いため、患者自身は市立ひらかた病院よりも関西医大病院の紹介を好む傾向があります。
- 寝屋川と枚方の境界でクリニックをしています。いつもお世話になります。大きなかじ取りをされるのですね。訪看ステーションとのつながりの強化はいかがでしょう。訪看ステーションによっては、寝屋川の病院しか知らない方もおり、市立ひらかた病院の良さを分かってもらう余地がまだまだあると思います。みんな「怖がり」ですが、Face to Face の機会があれば、寝屋川の訪看ケアマネの方も、もっと市立ひらかた病院と一緒に働くこと（チャンス）が増えるかも、と思いつつ。でも、立地のしぼりとかがあるので、難しいのでしょうか…。とりとめもなく記入してしまいました。デジタル化するなら、ぜひ連携もデジタルで！
- 総合病院でなく、スリム化し、「①関西医大にない専門分野」「②行政が必要と考える分野」の二つに特化するのが良いと思います。
- 病院設備はきれいになったが、何が特徴ある病院かわからない。専門性（医師）といっても、全て関西に大学病院が多数ある。大学病院また開業医にはない、市立ひらかた病院の「特徴ある検査」「医療技術」「ケア」など、わからないです！ 市立ひらかた病院だからできる医療システムを示してほしい！

<質問など>

- 在宅医療を行っております。高齢者だと病状が安定していても、急に症状が悪化する事が多々あります。自宅で最期を迎えたいとの希望があっても、いざ急変となると家族が入院を希望される事もあります。そういった場合、多くは診療というよりは看取り中心の医療になりますが（救急というより緩和医療）、救急車を呼ぶ事になります。そういった場合の受入れが可能かどうか、教えていただくと有難いです（かかりつけのみとか条件何でも）。
これからそういった方が増えてくる事も予想され、経営とは直接関わりない質問ですが、すみません、宜しくお願いします。
- ひらかた地域医療連携ネットワークについての記載がないですが、もう止めたのですか？
補助金があって、立ち上げはお金がそれほどかからなくても、継続する、機器をアップデートするといった面が出てくると、大きな費用が必要になると考えます。当院も参照会員ですが、全く利用実績はありません。実動していないなら、そのまま中止するのが賢実な考えかと存じます。
病院から送られる私どもからの紹介に対する返事があれば、即時的に検査データや画像データをいただく必要は、あまりないと思います。
- 経営のことは他人事なのでわかりませんが、以前、神経内科に通院しましたが、男性医師・副部長の権限が強く、セカンドオピニオンで京大病院・開業医の先生共に処方量の量・種類がおかしいと言われました。色々あるとは思いますが、客観的に見れる体制が必要ではないでしょうか。

別紙

いつも大変お世話になり、助かっております。

経営強化は、やはり地域の医療機関との連携、すなわち診療所からの紹介を多くしてもらい、入院患者は稼働率をあげて、在院日数を減らすため、急性期治療を終えれば関西医大のように、速やかに慢性期の病院へ転院させてもらうことが重要と思われまます。

基幹病院の先生が診療所に来られると恐縮いたしますが、だからこそ患者を送ろうと思義に感じます。忙しい中、大変だとは思いますが、少なくとも消化器内科の先生は消化器を掲げている診療所に、循環器内科の先生は循環器を掲げている先生になど、専門の先生がその患者が集まりそうなクリニックを訪問されると、紹介患者は増えると思います。

紹介患者を増やす方法として、診療予約申し込み書も工夫してはいかがかと思われまます。私が外来をしていて、この患者さん紹介した方がいいなと思い、予約を取る時に、貴院の様式は照会内容を書いて FAX しなればいけないので、待っておられる患者が多く、時間をとりそうな時は、病名や依頼内容（検査とか受診希望）だけで FAX の送れる関西医大や公済病院にしてしまいます。

関西医大は総合内科や精神科など、どうしても診療情報が必要な科や場合は、地域医療がその旨を電話で連絡してくれますので、時間の空いた時に書いて FAX し、それから予約日時を知らせてくれます。外来の合間で、とりあえずすぐに FAX を送れることが紹介する一つの要因になります。

私は循環器を掲げておりますので、狭心症の患者さんがよく来ます。明らかに病変があり、カテーテルまで必要な場合は、患者さんの希望や病状に応じ紹介するのですが、まずは検査してみないかという患者さんは私の場合、星ヶ丘医療センターに依頼することが多いです。星ヶ丘は運動負荷心筋シンチや冠動脈 CT を検査予約できますので、患者さんは1回行けば待たずに検査してもらえ、結果は当院の夜診でもお伝えしてあげれば、会社は1日休めば事足ります。

最初に受診して検査日を決めて検査に行き、結果を別日に聞きに行けば、患者さんは3日会社を休まなければなりません。その結果、病変が見つかり、カテーテル治療が必要となれば、検査してもらった病院で治療してもらいましょうかとなるのが自然な流れですので、待機可能な患者は星ヶ丘さんをお願いすることが多くなります。

伝統的に枚方では、循環器は公済病院がいいという印象を枚方市民も開業医も抱いています。やはり救急をよくとってくれる、しかも気持ちよくとってくれるという積み重ねだと思います。貴院も森田院長の時から、救急の小林先生をはじめ、各先生方が頑張ってくれているとすごく思います。このまま続けていかれると、必ず成果は出ると思われまます。

当院は公済病院から遠いのですが、なるべく患者さんを送ります。何故なら当院から紹介した患者さんでもない方も、よく逆紹介してくれるからです。やはり、その恩は返さないといけません。公済病院は救急をよくとられるので、かかりつけ医のない方が救急で運ばれ、治療し安定すると（私は腎臓も専門ですので）紹介してくれたら、元々のかかりつけ医が腎臓は診れないので、他医で診てもらってくれと言われた方などを紹介してくれます。

添付いたしました虎の門病院の診察予約申し込み書のように、病状の安定により貴院への逆紹介を（希望する・希望しない）などの欄を設け、照会元の医師の意向を確認の上、貴院で継続してみるのか、照会元に返すのか、別医に紹介するのか、してはいかがでしょうか。そうすれば患者さんも喜ぶますし、貴院から新患を紹介されたクリニックの医師も喜ぶますし、そのお礼で貴院へそのクリニックからの紹介患者が増えれば貴院にもいいと思われまます。

質問9. に書きましたが、当院から紹介した患者が、説明もなしに他医へ紹介されておりました。患者さんの家族が退院の時、勝手に守口の訪問診療医に退院後の診療を頼んでおいたからと言われ、しばらくそれに従い、訪問診療を受けていたが、最悪な先生なので、また診てもらえないかと相談されたことがありました。そういったことがあると、以後その科には絶対紹介したくなくなります。おそらく貴院の方針ではなく、個人の医師の考えと思われまます。貴院全体の印象になります為、かかりつけ医の意向を聞く欄を設けて、なるべくその意向に沿う follow up をするという意識づけをした方がいいと思われまます。

貴院主催の講演会や見学会など、すごく勉強になり感謝しております。貴院の先生方の能力の高さに感銘を受けております。末永く今のように市立ひらかた病院が、いい病院であることを、皆に有難がられる病院であることを願っております。

ながながと恐れ多いことを書きました。すみません。枚方市民としても、一町医者としても、貴院の発展を強く願っております。これからも何卒よろしく願い申し上げます。

令和4年11月吉日

枚方市・寝屋川市・交野市
地域医療機関 代表者様

市立ひらかた病院
病院事業管理者 宮垣純一
病院長 林 道廣

経営強化プラン（素案）のアンケート結果について

平素は当院の運営におきまして、ご理解とご協力をたまわり、心より御礼申し上げます。

過日に実施させていただきました「市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）素案」のアンケートでは、多くの地域医療機関の皆様からご協力をいただき、また、記述式の「自由意見等」の項目におきましても、本当に多くのご意見をいただきました。

あらためまして、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今般、アンケートの集計結果を送付させていただきますので、ご一読いただければ幸いです。

当院といたしましては、アンケートの回答結果、また自由意見等で記述いただいたご意見も参考に、今後、病院の経営強化を図ってまいります。

また、政策医療を担う急性期病院としての機能を維持し、地域の中核病院として質の高い安全な医療を提供するため、地域の医療機関の皆様との連携を強化させていただいて、医療圏及び枚方市全域での連携体制による医療完結を目指してまいりますので、引き続きご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

■送付資料：市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）素案アンケート集計

※記述式の「自由意見等」の中で、お二人からご質問をいただきました。当院の回答につきましては、裏面をご参照いただきますよう、お願いいたします。

【連絡先】市立ひらかた病院事務局
経営管理室 経営企画課 林・門田・藤本
TEL：072-847-2821（代表）
FAX：072-847-2825

質問①

- 在宅医療を行っております。高齢者だと病状が安定していても、急に症状が悪化する事が多々あります。自宅で最期を迎えたいとの希望があっても、いざ急変となると家族が入院を希望される事もあります。そういった場合、多くは診療というよりは看取り中心の医療になりますが（救急というより緩和医療）、救急車を呼ぶ事になります。そういった場合の受入れが可能かどうか、教えていただくと有難いです（かかりつけのみとか条件何でも）。これからそういった方が増えてくる事も予想され、経営とは直接関わりない質問ですが、すみません、宜しくお願いします。

回答①

- 当院は急性期病院のため、救急搬送で看取りだけの受入れは困難であると考えていますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。
なお、家族が患者の最期をイメージできるように、事前にアドバンス・ケア・プランニング（ACP）を充分に行っていただくことが大切であると考えます。
- 当院の緩和ケア医療を受ける可能性のある場合は、事前に当院（医療相談・連携室／緩和ケア担当）までご相談ください。
また、緩和ケア病棟への入院にあたっては、事前に面談（外来診療）を実施していますので、手続等は当院のホームページをご参照ください。

質問②

- ひらかた地域医療連携ネットワークについての記載がないですが、もう止めたのですか？
補助金があって、立ち上げはお金がそれほどかからなくても、継続する、機器をアップデートするといった面が出てくると、大きな費用が必要になると考えます。当院も参照会員ですが、全く利用実績はありません。実動していないなら、そのまま中止するのが賢実な考えかと存じます。
病院から送られる私どもからの紹介に対する返事があれば、即時的に検査データや画像データをいただく必要は、あまりないと思います。

回答②

- ひらかた地域医療連携ネットワーク（天の川ネット）につきましても、費用対効果の観点などをふまえ、今後、取扱いを検討してまいります。